

To our shareholders

株主のみなさまへ



株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2016年度中間期の当社業績につきましては、急激な円高進行の影響により前年同期に対して減収減益となりましたが、中国を中心とするスマートフォンや自動車関連での旺盛な設備投資需要等により、利益は期初計画を上回る結果となりました。2016年度下期においては、新製品の開発・市場投入などを通じた主力事業の受注拡大や、大型風力発電事業・EV（電気自動車）事業などの環境・エネルギー分野についてコア事業化を進めてまいります。なお、2016年度通期の業績見通しについては、昨今の為替環境における急激な変化等を踏まえ売上高を下方修正しましたが、利益は中国を中心とした好調な受注により、従来予想を据え置きました。当社は今後、中期経営計画「Dash 25」の実現に向けた課題と方策をより明確にし、これらの確実な実行を通じた企業価値の向上と持続的成長を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2016年11月
代表取締役社長

小笠原 浩

■ 決算の概要

当社グループを取り巻く経営環境は、米国経済が引き続き堅調に推移したほか、英国のEU離脱問題により懸念された世界経済への影響が限定的だったことから、先進国を中心とした経済は緩やかな回復基調となりました。また、中国経済は昨年末の急速な冷え込みから回復し、生産設備の高度化・自動化等の加速により底堅く推移しました。国内については、為替の円高基調が継続しているものの、景気全般については緩やかな回復傾向となりました。

このような状況下、当社グループは環境・エネルギー分野をはじめとする新規事業領域の開拓や新製品の積極投入による競争力・採算性の向上を目指し、事業の拡大を図ってまいりましたが為替の急激な円高進行が業績へ大きく影響を与える状況となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの

業績は、売上高1,876億44百万円（前年同期比9.8%減）、営業利益138億18百万円（同27.2%減）、経常利益137億54百万円（同27.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益86億9百万円（同28.4%減）となり、前年同期比で減収減益となりました。

● 売上高 (第2四半期累計・連結)

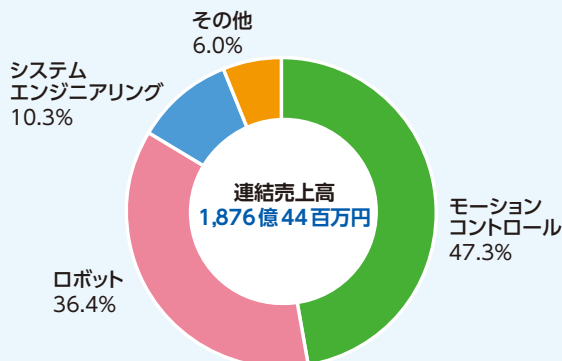


● 営業利益 (第2四半期累計・連結)



● 売上高のセグメント別内訳

(2016年度 第2四半期累計)



● 売上高の地域別内訳

(2016年度 第2四半期累計)

